

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
EU41D302		特別支援学校実践実地研究 (Field Study in Special Support School Practice )					実習科目	対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
選択必修	3	1	教育学研究科	後期	他	日本語		複数(共同)					
担当教員	氏名 佐藤晋治, 高橋徹弥, 友成洋 E-mail ssato@oita-u.ac.jp 内線 佐藤:7531												
授業の概要	特別支援学校における教育体験を通して、自らの研究テーマとする教育課題に対する解決策や改善策を具体的に構想し、実践の成果を的確に評価する力を養う。研究テーマが探究できる実習校(現職教員は現任教、ストレートマスターは附属特別支援学校または連携協力校)を定め、計15日間にわたる観察や授業実践を行う。実習校では、実習担当教員の指導の下、研究対象領域の授業を中心とした観察と分析、授業実践と省察を行い、自らの教育課題について考察を深める。そして、教育課題に対する解決や改善にむけた具体的な方策を構想する。以上を通して、特別支援学校の教員として必要な「使命感・責任感」、「実践力」、「省察力・創造性」を育成する。												
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)						
目標1	自らの研究テーマとする教育課題に対する実践的な解決策や改善策を、具体的に構想することができる。						1	2	3	4	5	6	7
目標2	構想した解決策や改善策の実践の成果を的確に評価することができる。												
目標3													
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							7	3					
授業の内容													
1	【事前指導】・特別支援学校実践基礎研究の成果を踏まえた「研究計画書」の作成を通して、本授業における課題意識の明確化や実践のイメージ化を図る。												
2	【第1期(5日間)】・実習担当教員の指導の下に、実習校の教育目標や研究テーマ、教員組織、実習校の教育課題等を把握する。												
3	・実習担当教員の指導ならびに大学の教員の巡回指導の下に、学校教育活動全体の参与観察の仕方を理解する。												
4	・実習担当教員の指導の下に、学校教育活動全体の参与観察を実際に行う。参与観察を通じて、実習校の子どもたちの状況や教職員の職務内容を理解する。												
5	・実習担当教員と大学の教員を交え、第1期の実地研究の進捗状況等を確認する。												
6	・省察科目「教育実践課題研究」において第1期の実地研究の成果及び課題点を明確化し、第2期の計画を確認する。												
7	【第2期(5日間)】・実習担当教員の指導の下に、院生の教育実践研究の課題(テーマ)に即した場面での参与観察を行う。												
8	・実習担当教員と大学の教員を交え、第2期の実地研究の進捗状況等を確認する。												
9	・省察科目「教育実践課題研究」において第2期の実地研究の成果及び課題点を明確化し、第3期の計画を確認する。												
10	【第3期(5日間)】												
11	・実習担当教員の指導の下に、院生の教育実践研究の課題(テーマ)に即した場面での参与観察を行う。												
12	・実習担当教員の指導の下に、院生のテーマに関する課題解決にむけた具体的な方策を構想する。												
13	・実習担当教員と大学の教員を交え、第3期の実地研究の進捗状況等を確認する。												
14	・省察科目「教育実践課題研究」において15日間の実地研究の成果及び課題点を明確化する。												
15	【事後指導】・実地研究の振り返りならびに観察体験の省察を行った上で、実地研究の成果報告を行う。												
ラーニング コンピ テンシ の グ	A:知識の定着・確認	実習					工 夫 の 他 の						
	B:意見の表現・交換												
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	実習準備(23h)											
	事後学修	実習日誌・観察記録等のまとめ(45h)											
	想定時間合計	68											
教科書	必要な資料等は大学より配付する。												
参考書	必要な資料等は大学より配付する。												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
		実習校における教育実践への積極的参加度	70%									
	自らの研究テーマとする教育課題に対する解決策や改善策の構想	30%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											
担当教員の 実務経験の 有無												
教員の 実務 経験	佐藤晋治(臨床心理士, 学校心理士)/高橋徹弥(特別支援学校, 教育委員会事務局)/友成 洋(特別支援学校, 教育委員会事務局)											
実務経験を いかした 教育内容	学校現場や教育行政現場, 心理臨床の現場での実務経験をもとに, 特別支援学校における障害のある人々への指導、支援全般に係る指導を行う											